

地域の未来を創る

地域コミュニティの活性化を促進 にこにこ地域づくり交付金事業

予算額 >>> 1,443万円

市民の皆さんが主体となった地域振興や地域コミュニティ活動を活性化するため、全10地区に「にこにこ地域づくり交付金」を交付します。

交付対象

市内10地区の区長会

地域担当職員を増員

地域のまちづくりを支援する「地域担当職員」を1人増員の3人とし、行政のバックアップ体制を強化します。

令和4年度の進捗

事業1年目となった昨年度は「わいわい」の始まりである話し合いが各地区で行われました。そして、各地域の特色を生かした「わくわく」するような事業が計画され始めています。



福祉・防災の拠点へ まちづくり会館職員 福祉・防災研修

予算額 >>> 47万円



昨年4月に公民館を廃止し、新たに設置した「まちづくり会館」では、幅広い住民活動の拠点となるための様々な検討を各地域が主体となって進めています。

今年度は、各地域の福祉・防災拠点としての機能を強化するため、まちづくり会館職員が福祉に関する研修や防災士養成研修に参加し、職員のスキルアップを図ります。

令和5年度当初予算と主な事業

新しい勝山の実現へ

令和5年度の当初予算では、物価高対策、防災対策の推進、こども政策の充実を最優先課題と位置づけた上で、県立恐竜博物館のリニューアルオープンなどの大型プロジェクトを好機ととらえ、新しい勝山の実現のために多方面にわたり積極的な投資を行います。そして、このような考えのもと、第6次総合計画に掲げた2つの「創る」と4つの「守る」の政策目標に沿ったまちづくりを推進します。

市民の家計を応援

最優先課題

電気料高騰対策支援交付金

予算額 >>> 1億3,329万円

高騰する電気料金に対して、家計への支援を行うため、電気料高騰対策を行います。

交付金額

1人あたり毎月500円
(1人あたりの合計 年間6,000円(最大))

交付対象者

令和5年3月1日現在の勝山市民に3か月分
令和5年6月1日現在の勝山市民に3か月分
令和5年9月1日現在の勝山市民に3か月分
令和5年12月1日現在の勝山市民に3か月分

申請者および受給権者

交付対象者の属する世帯の世帯主
※申請書は順次発送します



令和5年度 当初予算

予算総額 197億4,436万円
(前年度比0.05%増)

一般会計 福祉や教育、道路の整備など、市の基本的な事業を行う会計

119億円 (前年度比0.2%減)

特別会計 国民健康保険や介護保険、下水道事業など、特定の事業を行う会計(7会計)

69億3,485万円 (前年度比0.6%増)

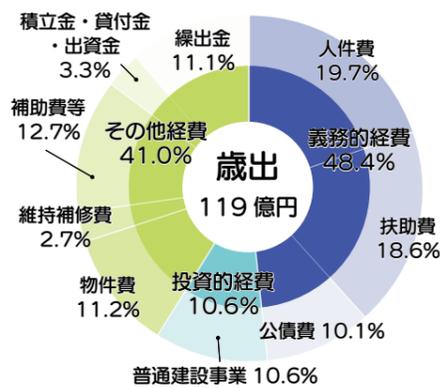
企業会計 市民の皆さんに飲用可能な水を供給する会計

9億951万円 (前年度比0.6%減)

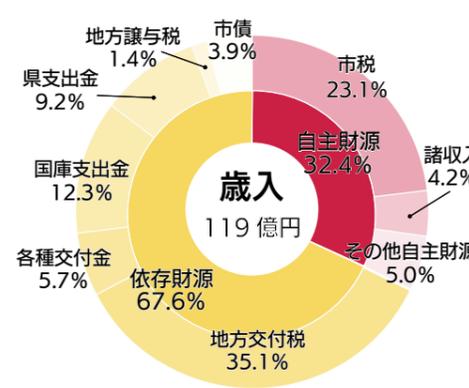
今年度も健全な財政運営に取り組んでいきます。
円財政課(市役所3階)
☎ 88-8120



当初予算
詳細は
こちら



歳出の概要
市の歳出は、約5割が人件費や市民生活を支える福祉事業などに係る費用の義務的経費で、約1割が道路や公共施設の建設などにかかる費用の投資的経費になっています。



一般会計予算の概要
市の歳入は、約3割が市税(主に市民税や固定資産税)などの自主財源で、約7割が国や県からの地方交付税・国庫支出金や市債(借金)などの依存財源です。